

地域医療連携室だより

For you

ほうゆう

平成29年4月発行（第19号）

平成29年度 春号

1. 新年度のご挨拶

横浜ほうゆう病院院長の日野です。

さて、当院は本年度から「横浜市認知症高齢者緊急一時入院事業」を受託しました。これは BPSD の急激な悪化や介護者の急病など緊急入院が必要となった認知症の患者さんを受け入れるという横浜市の事業です。認知症疾患医療センターも同様な役割を任せておりますが、こちらは現在のセンターが始まる以前から行われています。この事業に横浜市は 2 床を確保しており、その 1 床が当院ということになっています。

本年 3 月 12 日に施行された改正道路交通法では、75 歳以上の高齢ドライバーが認知症と診断されると、免許証が停止または取り消されることとなりました。免許の更新時、あるいは認知機能の低下によって起こされやすい違反をした場合に認知機能検査が義務化されました。この検査の結果（認知症のおそれあり）とされた方は後日、臨時適性検査または医師の診断が必要となります。認知症と診断された場合には、免許証の停止または取り消しとなります。警察署では、運転に自信がなくなった高齢者の方や病気などの理由で運転が心配な方へ運転免許証の返納を勧めています。当院はもちろん認知症の鑑別診断を行っています。少しでも運転に不安を感じている方やご家族より運転の「卒業」を勧められている方は、まず返納をご検討いただければと思います。

今後も当院はこのような認知症医療行政にも可能な限り、協力していきたいと考えております。



院長 日野 博昭

事務部長
前沢 恒一

事務部長に就任して 7 年。認知症医療を取り巻く環境は大きく変化し、「入院医療中心から地域生活中心」へとシフトしています。その大きな流れの中で、当院に求められる役割、同時に当院が果たす

べき役割を模索し、実現していくことが重要です。一つの企業として病院という建物がある以上、その場所を中心とした地域貢献・地域密着、そして地域に信頼されることが不可欠です。

2001 年に開院して 16 年、認知症医療・看護・介護・リハビリテーションなどの経験を積み重ね、培ってきました。今後はこの経験を生かし、地域生活を送られる方や地域で介護等の仕事に携わっている方に少しでも還元できる取り組みを進めてまいります。

看護部長
原科 美津枝

昨年 4 月から看護部長をさせて頂き、試行錯誤しながらの 1 年でした。今年も「横浜ほうゆう病院らしく」活動したいと考えております。

【1】2~3 年前より「顔の見える関係」を目標に地域との連携や協力の強化を図ってきました。今年度もこの方針を変えることなく、出張講義や研究会などのイベントへの参加を薦めていきたいと思っております。【2】病院内では「認知症家族講座」「家族の会」「認知症ケア研修」の拡充も行います。【3】平成 25 年から始めました「看護相談外来」も地域の方々にも利用していただけるように充実させていきたいと考えております。今年も受診や入院はスピードとフレキシブルな対応を実行できるように努めていきたいと思っております。

2. 入院について（よくある質問）

入院について寄せられる質問をまとめました。

詳しくは地域医療連携室（TEL045-360-8787）までお問い合わせ下さい。

Q 入院の対象について教えてください。

- A
- ・ 認知症の行動・心理症状（徘徊、介護への抵抗、暴言など）でお困りの方
 - ・ 上記の症状からご自宅や施設での生活にお困りの方
 - ・ ご家族の介護疲れ軽減の為に短期（2週間～1ヶ月程度）の入院希望の方 等です。

Q 専門医の先生はいますか？

- A はい。

現在、精神科常勤医師は4名（日本認知症学会認定専門医、日本老年精神医学会認定専門医）その他、専門医等様々な資格を持った非常勤精神科医師が8名勤務しています。

Q 入院治療はどのように行っていますか？

- A 病棟には看護師・作業療法士・精神保健福祉士・介護福祉士・ケアワーカーが配置されています。医師の診断・治療方針に基づき、薬の調整、看護・ケアを通じて関わり方の工夫を見つけ出し、患者さん、ご家族が再び穏やかに安心した生活が送れるよう支援しています。

Q リハビリについて教えてください。

- A 各病棟に作業療法士が1名配置されており、患者さんの状態に合わせて個別や集団での作業療法を行っています。作業療法では患者さんの生活のしづらさの改善を図ります。身体機能訓練の他、製作・レクリエーション活動を通して患者さんの生活リズムや環境を整え、心身の残存機能の維持・改善も図っています。

Q 面会時間は決まっていますか？

- A 当院では面会は原則24時間可能です。

防犯上21時～翌朝8時にお越しになる場合は必ず事前にご連絡下さい。

Q 入院中に他の医療機関を受診することはできますか？

- A 身体疾患が安定している方を入院の対象としております。その為、当院で治療が困難な疾病（骨折、急性疾患、緊急の手術や専門的な治療が必要な場合等）にかかれた場合は受診や転院をしていただくこととなります。眼科や歯科等の受診をご希望の場合はご相談下さい。

Q 入院期間は決まっていますか？

- A はい。

入院時に医師と本人・ご家族と入院期間を設定します。患者さん1人1人には退院後生活環境相談員（病棟の精神保健福祉士）が選任され、在宅や施設等への退院に向けて関係機関と協力し、調整を図ります。

Q 退院先にはどのようなところがありますか？

A ご自宅への退院が難しい方は、介護保険施設として【認知症対応型グループホーム、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等】ご案内させていただきます。また、医療処置が必要な方は療養型病院等への転院をご相談させていただきます。

Q 季節の行事やイベントはありますか？

A 作業療法士が中心となり、病棟職員全員で取り組んでいます。

4月	お花見の会	10月	ほうゆう祭り
5月	母の日会	11月	運動会
6月	父の日会	12月	クリスマス会
7月	七夕会	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひなまつり

*その他 音楽療法士による音楽クラブや回想療法、園芸療法等実施しています。

Q 入院費用はどのくらいかかりますか？

A 医療費、食事代、日用品レンタル、オムツ、その他雑費等含めて、

⇒医療費1割負担の方…15～18万円程度/月

医療費3割負担の方…23～25万円程度/月

※お持ちの限度額認定証等やオムツ、リースの使用状況により個人差がございます。

Q 生活保護受給中の方は入院が可能ですか？

A 可能です。相談時に生活保護受給中である旨をお伝え下さい。

Q お部屋代はどのくらいかかりますか？

A 保険外自己負担となります。

個室	10,800円(1日)	3床室	5,400円(1日)
2床室	7,560円(1日)	4床室	差額室料なし

Q 面会、外来患者用の駐車場は無料ですか？

A 25台全て無料です。

Q 関連施設を教えてください。

A 救急指定の湘南泉病院、療養型の新中川病院、介護老人保健施設阿久和鳳荘、本郷クリニック(内科)、ほうゆう介護支援事業所、ほうゆう訪問看護ステーション、ほうゆう保育園があり、いずれも旭・瀬谷・泉区内にございます。

Q 入院までの流れを教えてください。

A ①地域医療連携室(TEL045-360-8787)までご連絡下さい。

②認知症の症状、合併症、基本情報等お伺いします。

③診療情報提供書をご用意下さい。

④医師と相談し、日にちをご連絡いたします。



3. 平成 29 年度認知症家族講座の予定

認知症について知りたいと思ったことはありませんか？

当院では認知症の患者さんと寄り添うご家族を中心に地域の方々を交え、認知症について学び合う会を開催しています。認知症の方を介護されている方同士で、お話しする自由な時間も設けています。お気軽にお越し下さい。お待ちしております。

日時	内容	講師
6月17日(土)	認知症の理解	精神保健指定医
7月15日(土)	食事の工夫と脱水予防	管理栄養士
8月19日(土)	認知症の薬の話	精神保健指定医
9月16日(土)	介護保健施設について	株式会社 アイシマ
10月21日(土)	日常生活の支援	認知症看護認定看護師
11月18日(土)	認知症家族講座～拡大版～	家族会・家族講座推進委員会
12月16日(土)	口から食べられなくなった時に考えること	老人看護専門看護師

※テーマ、並びに講師については一部調整中の為、変更となる場合がございます。

受付時間：13時より

開催時間：13時30分～15時まで

講義は45分間の予定です。その後は家族の集いを会議室にて行います。

開催場所：横浜ほうゆう病院 外来ホール

参加費用：資料、お茶代として100円いただきますのでご了承下さい。

申込方法：お電話にてお申込み下さい。当院をご利用されていない方の参加も可能です。

045-360-8787(代表) 地域医療連携室までご連絡下さい。

4. お知らせ

平成29年度第1回 認知症ケア研修

日時：平成29年5月13日(土)

10:30～12:00

場所：横浜ほうゆう病院 会議室

内容：『認知症の基礎知識』

『実践！認知症の人との接し方』

対象：横浜市内で勤務されている

介護施設職員の方

◆申込・お問い合わせ◆ 担当：前沢・原科

看護の日

—今年も看護のイベントを開催します—

日時：平成29年5月13日(土)

12:00～14:00

場所：横浜ほうゆう病院 1階

○認知症相談 ○栄養相談 ○歯科相談

○血圧・体力測定 ○口コモ体操

○大人用紙オムツ紹介コーナー

★キッズコーナーもご用意しています。

平成29年4月より横浜市認知症高齢者緊急対応事業を受託しました。

お問い合わせ、ご相談は各区の高齢・障害支援課にお願いいたします。

*次号(夏号)は7月頃の発行を予定しています。

本日よりのご意見・ご要望は地域医療連携室までお願い致します。



特定医療法人社団鵬友会
横浜ほうゆう病院

—認知症疾患専門病院—

〒241-0812 横浜市 旭区 金が谷 644-1

TEL: 045-360-8787(代)

FAX: 045-360-8788

ホームページ: <http://www.hoyukai.org/yokohama-hoyu/>

地域医療連携室 担当：片瀬 今野 高橋

横浜ほうゆう病院 ～病棟風景～

病棟出入口



エレベーターホール



ナースステーション



デイルーム



有料室【個室・2床室・3床室】
 穏やかに治療・療養に専念ができますよう木目を基調としたお部屋となっています。

個室



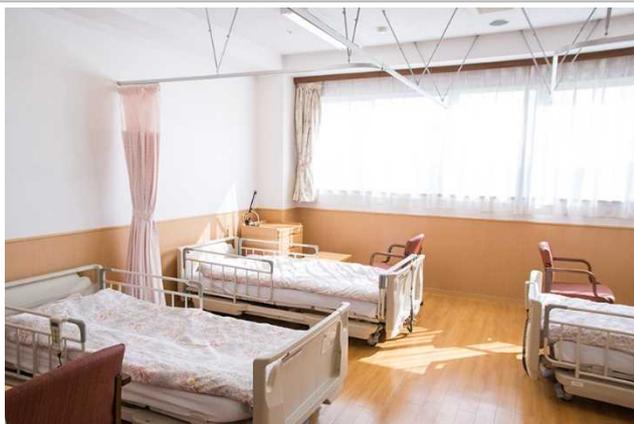
【床数】 8床
 【料金】 10,800円（1日）

2床室



【床数】 2床
 【料金】 7,560円（1日）

3床室



【床数】 3床
 【料金】 5,400円（1日）

4床室



【床数】 200床
 【料金】 差額室料なし

横浜ほうゆう病院 ～風景～

外観



正面玄関



1階受付



外来待合室



外来診察室



面談室



地域医療連携室



薬局



デイケア サンアリス

